

可能な部分から最大限の努力を重ね 質のよい患者本位のチーム歯科医療を提供

医療法人 AQUA もりもと歯科クリニック 院長 森本 敬太 先生



森本敬太 院長

三重県・四日市市の「医療法人 AQUA もりもと歯科クリニック」は、6年前、古い建物を受け継ぎ、新たな歯科医院としてスタート。現在は名古屋からも患者が訪れる評判の歯科医院に成長した。その陰には森本敬太院長とスタッフのたゆまぬ努力があった。

住宅街の奥まった歯科医院を 居抜きで引き継ぎ、開業

もりもと歯科クリニックの開業は、2004年。住宅街の古い歯科医院を居抜き物件として手に入れてのスタートだった。「しばらく閉院していたので、夫婦そろって草むしりからのスタートでした」

それでも開業初日は30人の新患が来院した。森本敬太院長は名古屋在住だが、出身は四日市。親族や友人知人に広く開業を知らせていたことが初日の新患数につながった。その後も順調に患者は増え、住宅街の奥まった場所ながら、遠方からも多くの患者が訪れる人気の歯科医院になっている。

毎年、増改築を繰り返し、 徐々に規模拡大と設備の充実を図る

森本院長が現在地に開業することになったのは、最小限の投資で開業するには、どうしたらいいか、と考えたからだ。森本院長は知恵を絞った。

まず着手したのは、受付と待合室の改築だ。以前は、2人座ればいっぱいになるような狭い待合室だった。それを5、6人は座れるように改築した。

「1年後にはチェアを2台から3台に増やし、その1年後には自費診療を意識して個室を作り、もう1台増やしました。3、4年目は予防とカウンセリング用に2台増設。5年目にはオペ室、今年にはCTを導入と毎年、増改築を加えています」

最近も駐車場に張り出す形で予防ルームを増築し、待合室もさらに拡大するなど、設備の充実を図ってきた。

実際に歯科医院に足を踏み入れると、古い鉄筋の建物が基盤のため、増改築に限界があるのを承知した上で、「少して

も患者さんに質のよい歯科医療と心地よい空間を提供したい」という森本院長の熱意が伝わってくる。

歯科医師とスタッフがチームを組み 熱心にスキルアップを図る

現在、もりもと歯科クリニックは、森本院長を含め、歯科医師は8名(非常勤と研修医含む)、歯科衛生士は6名、歯科助手4名、受付兼医療事務が2名の体制だ。これら歯科医師と歯科衛生士たちスタッフの力量を高める努力も怠ってはいない。もりもと歯科クリニックでは、チーム医療の視点で治療に取り組むことを重視しているからだ。

「従来のような院長一人で診る体制では、高度化した歯科医療には対応できません。一人の患者さんを歯科医師と歯科衛生士がお互いの専門性を生かして診る。そしてまた、歯科医師の中でも得意分野を生かして、最良の治療をすることが今の歯科医療には欠かせないと思っています」

そのために必要な技術や経営向上の勉強にはお金を惜しまない。まず森本院長は、開業2年目で採用した副院長の桃沢匡先生とともに力量を高めるため、国内外のセミナーに参加した。とくに森本院長が積極的に取り組んだのが、インプラントの研修だ。この頃から、森本院長はインプラント、副院長は歯周外科を専門とするように役割分担が決まってきた。その後も常勤の歯科医師や研修医を積極的に受け入れ、熱心に教育しているのも、専門医を増やし、地域医療を充実させたいという思いからだ。

歯科衛生士に対する教育も、最先端の知識と技術を身につけさせるため、歯科医師が講師を務める上級者向けセミナーにも参加させるなど、積極的にバックアップしている。「その代わり、私が要求する水準も厳しいです。厳しくても、やり



和風の建物にモダンなデザインの建物を増築した



和風とモダンな建物の間が入り口



壁のイラストが印象的な受付



受付から予防エリアへの通路

広々とした通路を仕切り、個室風になっている



大きな机のあるカウンセリングコーナー チェアまわりを茶と白で統一



治療用チェアは明るい雰囲気に



新しく設置したオベ用個室



今年、CTも新しく導入した

がいのある仕事をしたいと熱望するスタッフと一緒に仕事がしたいからです。それでもへこたれず、私についてきてくれるスタッフには、感謝しています」

患者数が多すぎる危機を乗り越え 原点に帰った治療に取り組む

開業以来、順調に業績を伸ばしてきた、もりもと歯科クリニック。「なぜ、この歯がダメになるのか。原因はどこか。どうしたら解決できるか」という情報を惜みなく提供し、オリジナルの説明書なども使って、わかりやすく説明してきたことも、患者数の増加に拍車をかけた。

しかし、一度だけ、森本院長が軌道修正の決断を迫られたことがある。4年ほど前、患者が増えすぎてしまい、予約通りに診療が進まず、待合室が患者でいっぱいになった頃だ。

何か対策をと思いつつも、日々の診療に追われていた森本院長は、ある日、ショックな出来事に遭遇する。信頼していた受付の女性が退職を申し出たのだ。「待合室で待っている患者さんの視線に耐えられないと言われた

のです。自分が目指してきたのは、一人ひとりの患者さんを大切にする歯科医療のはずだったのに、これだけはやるまいと思っていた反対の状況に陥っているのではないかと。スタッフからも、軌道修正を迫られました」

開業時、胸に抱いていた目標を思い出した森本院長は、予約システムを見直す。1日80人に限定し、一人の歯科医師が1日に診る患者数を10人程度に絞ることにした。

当初は患者からとまどいの声も聞かれたが、患者のためのシステム変更であることが理解されると、次第に予約を自発的に申し入れる人が増えてきた。また、患者と接する時間が長くなり、コミュニケーションが密になったことで、自費率もアップしてきたという。「開業から6年経ち、ようやく診療が安定期に入った気がします。今後は今の状態を継続し、さらに専門性を高めながら、充実したチーム医療を続けていきたいと思っています」



治療を正確に伝えるため、オリジナルの説明書を患者に渡す

Profile

森本 敬太 先生

- 2000年 愛知学院大学歯学部卒業。同大学第一補綴学臨床研修医。同大学第一補綴学専攻
- 2002年 同大学歯理工学専攻 2004年 もりもと歯科クリニック開業
- 2006年 医療法人 AQUA もりもと歯科クリニック設立 ●2007年 厚生労働省歯科医師臨床研修医指導医研修終了。指導医免許所得 ●日本歯理工学学会会員 ●日本補綴学会会員 ●日本顎咬合学会(認定医取得) ●日本口腔インプラント学会会員 ●JACID会員

医療法人 AQUA もりもと歯科クリニック

住所: 三重県四日市市笹川1-59

TEL: 059-322-1771 HP: <http://www.morimoto-d.com/>



森本院長と勤務医の先生方